

(部局名 : 農業振興部)

1. 部局としてのアウトソーシングの方針 (重視する効果や、大きな課題などを主題にしてください)		
<p>農業振興部では、普及業務などアウトソーシングになじまない業務や、農業団体が実施することが望ましいが、農業団体に実施のノウハウ等がないために県が担っている業務がある。このため、アウトソーシングという考え方を広義に捉え、県と農業関係団体との役割分担を見直し、県が実施していた業務を委託するのではなく、実施方法等の指導・支援を行いノウハウを移転し、農業団体等が自らの業務として実施してもらうこともアウトソーシングだとの考え方で実施計画を策定した。これにより、県の実施する業務は、専門性が高く農業団体では実施しにくい業務や地域振興策等に特化することとした。併せて、役割分担を円滑に行うための移行措置として、経営不振農家対策、異業種からの参入支援、集落営農の推進、有望品目の産地化の4つの事業を、改革枠を活用して、期間限定で重点的に進めることとするアウトソーシング実施計画を策定したところである。</p> <p>農業振興部は、この方針に沿って取り組みを進めている。</p>		
2. これまでの状況 (スリム化分を除く)		
現実施計画でのアウトソーシング率		2.80%
H17～18 発注済件数	アウトソーシング推進関連	4 件
	地域版アウトソーシング	1 件
H19 予算件数	アウトソーシング推進関連	4 件
	地域版アウトソーシング	1 件
特記事項 (課題の克服など)		<p>農業大学校や環境保全型畑作振興センターの圃場管理関係の業務については、これまで技能職や非常勤職員の方々に担って頂いていた。この業務は、圃場を適切に管理するというのみではなく、教育的な要素が大きなウエイトを占める。この教育的な部分も担えるアウトソーシングの受け皿を探しているが、適切と思われるアウトソーシング先がない。そこで、現在、普及職員のOBの方を中心にNPO法人を設立していただいて、ここに委託する方向で検討している。</p>
3. 重点的に取り組むアウトソーシング業務とその概要		
(1) 取り組む業務 (又は分野)		
(2) 当面の課題		
(3) 進め方や年次の計画など		